

CASBEE® 京都-新築

標準システム 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2015年版) 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都二条マンション計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	京都市中京区壬生上大竹町14番1,14番3,14番4	構造	RC造
用途地域	準工業、準防火、20m(第1種)高度、市街地景観形成地区、遠隔70分保安	平均居住人員	63人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2018年5月11日
敷地面積	863㎡	作成者	木元健太
建築面積	348㎡	確認日	2018年5月12日
延床面積	2,023㎡	確認者	平野哲也



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・省エネルギーに優れた住環境。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・内装材にはすべてF☆☆☆☆製品の使用。		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・太陽光発電設備を設置。 ・LED照明使用。	・地域産木材使用。	・光害の抑制に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される